

横浜の遊覧船（2025年春）

個人会員 福富 廉

5月3日の祝日、横浜では恒例の国際仮装行列が快晴のもとで行われ、各種のイベントもあって街は大賑わい、海上も満船に近い状態の遊覧船が数多く行き交っていた。3年前に巻末に添付した【参考】レポート（未発表）を作成していたが、3年経って改めて見直してみることにし、この日撮った写真を中心にレポートを作成してみた。

大きな違いは「ロイヤル・ウイング」の引退（2023年5月）、「シーバス」の運航終了（2022年11月）、「ル・グラン・ブルー」の運航休止（2025年3月末）と言ったところだが、このことで他の大きな港と比べて全体的に小粒になってしまったように思える。また、船は同じながら、乗り場の状況はかなり変化している。

1. ポートサービス

（1）「マリンルージュ」

唯一の大型レストラン船。ピア赤レンガ乗り場から、主に大黒ふ頭を反時計回りに一周するクルーズを行っている（他の船は基本的に横浜港の外防波堤の外には出ません）。



(2) シーバス 3姉妹

横浜駅東口とハンマーヘッド、赤レンガ、山下公園の3か所を結ぶ水上バス。寄港地は様々。

[1] シーバス・ゼロ



船体色が白から黄に



[2] シーバス 5



船体色が青から白に



[3] シーバス・エース



平日は予備船？



2. 京浜フェリーボート

(1) 「ゆめはま」 (19GT)

象の鼻から出港する遊覧船。工場夜景で有名な京浜運河のナイトクルージングも行っている。



船体色が変わった



(2) シャイニークルーズ「シャイニービュー」 (19GT)

横浜ワールドポーターズやナビオス横浜の傍の運河パークから出港する遊覧船。最終便が22時30分発と最も夜遅くまで運航していることを“売り”にしていた。



(3) チャーター船



「ロサアルバ」(84GT) 左の写真では小学生の遠足で港巡り



「かなもえ」(9.7GT) フルオープンデッキの遊覧船

3. 赤レンガ café クルーズ「オセアンブルー」

赤レンガから土日祝日だけ運航している。本船は毎年3月のポートショーの際、ぶかりさん橋と横浜ベイサイドマリーナの間を結ぶシャトル便として「シエルブルー」(6. チャーター船の項参照)と一緒に運航されており、乗船することができる。



4. パラダイスクルーズ「パラダイス」

横浜港内では無いが、横浜市の南部、八景島シーパラダイスのアトラクションとして運航されている黒船船尾外輪船を模した遊覧船。



5. スカイバスの水陸両用バス

帆船「日本丸」船尾傍の乗り場から運航されている。基本的に陸上の遊覧は無さそうだ。



「スカイダック」 赤いクジラが側面に描かれている（緑ナンバー車）



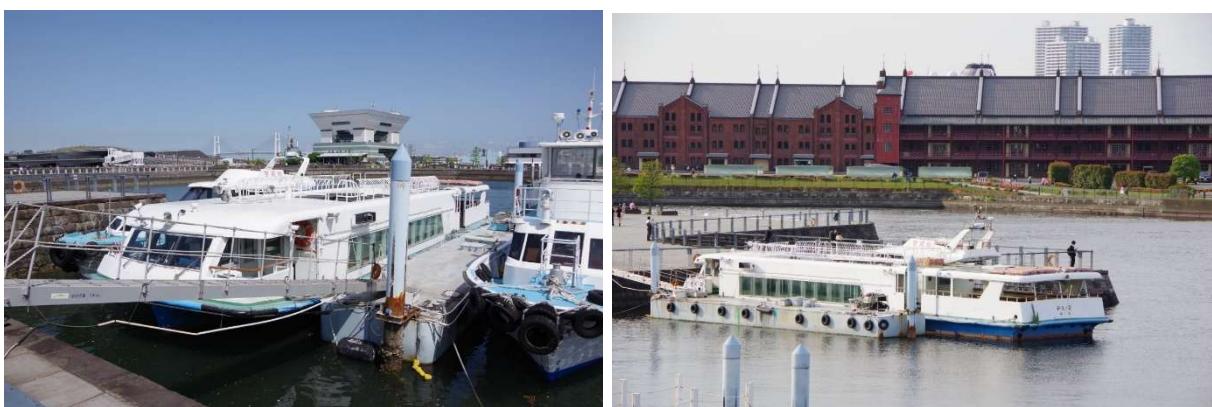
「スカイダック横浜」 横浜バージョンとか、青いクジラが側面に描かれている（白ナンバー車）

6. その他チャーター船、屋型船等

全部を網羅しているわけでは無いが、見つけた船々を挙げてみる。



「シエルブルー」ポートショーでの撮影



「PX-2」



「ルーカス」



警戒船「アバランチVII」
元関門汽船の「わかば」で、
3. の「シャイニービュー」の
同型船のようだ



横浜水上タクシー “スイタク”



屋型船「第五すずよし」



屋型船「第七濱新丸」



屋型船「5号野毛丸 ずーみん」



屋型船「横浜第一正義丸」



フルオープンのチャーター船
「ニーズ II」

奥は来日中の
モーターヨット「APRIES W」
全長 46m、499GT

(3) 乗り場案内

昔の港巡りの遊覧船は全て氷川丸の傍で乗下船していたが、シーバスの例で、今は起点となる横浜駅東口を別とすれば、ハンマーヘッドへの寄港便が最も多く、「マリンルージュ」はピア赤レンガからのみ出入港している。



①横浜駅東口・シーバス乗り場



②ぶかり桟橋 今は定期船は無い



③スカイダックの乗り場・入水場



④弁天橋屋型船乗り場 左奥が桜木町駅



⑤運河パーク乗り場 上にスカイキャビン



⑥万国橋屋型船乗り場・係船場（15隻以上係船）



⑦ハンマーHEAD乗り場



⑧ピア赤レンガ乗り場



⑨象の鼻乗り場
「ゆめはま」、水上タクシー、チャーター船等



⑩山下公園乗り場

【参考】横浜港の遊覧船（2022年5月29日（日））

個人会員 福富 廉

横浜港の遊覧船と言えば、昔は氷川丸のそばからの港巡りだけだったが、そのうちレストラン船等が増え、最近は小型船があちこち走っていて、筆者にはよくわからなくなってきた。休日等は象の鼻通りで呼び込みしている遊覧船も多々あるが、定期だか何だか、どうなのだろう。

好天に恵まれた5月最後の日曜日、港では大きなイベントが開かれてどこも人だらけ。やはり、どの船も盛況で、2年前のあの閑散とした景色【学会ニュース 2020-31（0517）】が幻だったような気さえした。氷川丸そばの遊覧船乗り場がリニューアル中とかで閉鎖されており、ほとんどの船が赤レンガ倉庫脇のピア赤レンガを発着場所としていた。

なお、不定期・チャーター船については全体を把握しているわけではありません。

（1）ロイヤルウイング



「ロイヤルウイング」
(ご存知、
元、関西汽船の「くれない丸」
おん年 62 歳、いつまで使われるのか？
海外ではそう珍しくないが...。)

（2）ポートサービス



「マリンルージュ」
昨年、「マリーン シャトル」
が引退したので1隻に。

以下の「シーバス」は、乗り物の水上バスでは無く、スズキの類の魚の名前。



「シーバス 5」 京急とコラボした特別ラッピング



「シーバス ゼロ」



「シーバス」（「シーバス1号」とも言っているようだ）



「シーバス エース」主に、クルーズで使われている

（3）その他（主に、不定期・チャータークルーズ 東京／横浜両方で活動する船も有り）



「ゆめはま」



「PX-2」



水陸両用バス「スカイダック」2隻？（帆船「日本丸」そばから水上へ）

名前はアヒル（シンボル有）、体は青いクジラ（左）と赤いクジラ？？



「ロサルバ」



「オセアンブルー」



ヨコハマインター・コンチネンタルホテル「ル・グラン・ブルー」



「かなもえ」



「サンタ バルカ」(東京ベイガード)



横浜の水上タクシーSUITAKU



屋形船「第八濱新丸」(露天デッキがあって遊覧船風)



屋形船「5号 野毛丸」(一応、遊覧船)